

First Hit  

L2: Entry 21 of 30

File: DWPI

Sep 26, 2000

DERWENT-ACC-NO: 2000-650543

DERWENT-WEEK: 200063

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Hand wound sushi for packaging rice for sushi consists of tongue shaped piece having central slitting for incision provided on taper portion of conical bag so as to cut open bag by pulling the tongue piece

## PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE	CODE
SUZUSHIGE KIKO KK	SUZUN

PRIORITY-DATA: 1999JP-0114010 (March 17, 1999)

## PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> JP 2000264387 A	September 26, 2000		005	B65D085/50

## APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP2000264387A	March 17, 1999	1999JP-0114010	

INT-CL (IPC): A23 L 1/10; B65 D 30/28; B65 D 33/00; B65 D 65/10; B65 D 85/50

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000264387A

## BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A tongue shaped piece (8) having a central slitting (9) for incision of the side taper portion (2) of the conical bag is provided. The bag is formed on the same direction with the orientation film which is setup and arranged the opening direction so that one piece of the tongue shaped piece is cut open to be pulled to a horizontal direction.

USE - For packaging rice for sushi.

ADVANTAGE - Enables to cut open the bag correctly easily and rapidly. Ejection of goods from the bag is done quickly and easily.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective view of the working condition of the bag for sushi.

Side taper portion 2

Tongue shaped piece 8

Central slitting 9

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

TITLE-TERMS: HAND WOUND SUSHI PACKAGE RICE SUSHI CONSIST TONGUE SHAPE PIECE CENTRAL SLIT INCISION TAPER PORTION CONICAL BAG SO CUT OPEN BAG PULL TONGUE PIECE

DERWENT-CLASS: A92 D13 Q32 Q34

CPI-CODES: A12-P02; D03-H02F; D03-L;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2000-197489

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-482250

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-264387

(P2000-264387A)

(43)公開日 平成12年9月26日 (2000.9.26)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

B 65 D 85/50  
A 23 L 1/10  
B 65 D 30/28  
33/00  
65/10

識別記号

F I

B 65 D 85/50  
A 23 L 1/10  
B 65 D 30/28  
33/00  
65/10

テ-マコ-ト<sup>\*</sup>(参考)  
E 3 E 0 3 5  
F 3 E 0 6 4  
E 3 E 0 8 6  
C 4 B 0 2 3  
A

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全5頁)

(21)出願番号 特願平11-114010

(71)出願人 591094262

鈴茂器工株式会社

東京都新宿区新宿2丁目3番15号

(22)出願日 平成11年3月17日 (1999.3.17)

(72)発明者 鈴木 喜作

東京都練馬区土支田1丁目19番8号

(74)代理人 100069213

弁理士 平田 功

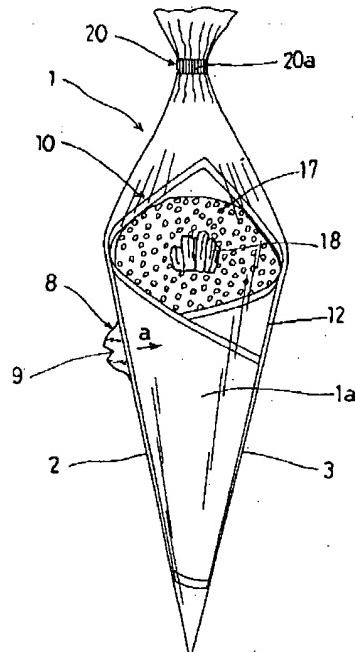
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋

(57)【要約】

【課題】 手巻寿司におけるシャリの乾燥劣化、塵芥、雑菌等の附着防止と、密封した袋本体をワンタッチ操作で容易、迅速、かつ正確に開封できるようとする。

【解決手段】 略円錐形状の手巻寿司21あるいは同手巻寿司巻包体10の収納時に同形状の略円錐形状に形成される透明プラスチック製の袋本体1を設け、該袋本体1内へ手巻寿司21あるいは手巻寿司巻包体10を収納した後、同袋本体1の上端開口部4を適宜の閉鎖処置20によって密閉するようにした包装袋において、前記袋本体1の側方テーパ部2の略中央に切開用の切り込み9を入れた舌状片8を突設すると共に、当該袋本体1を、前記舌状片8を横方向へ引張ることに切開可能なよう同方向にその開封方向を設定、配置した方向性フィルムにて形成した構成。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 略円錐形状の手巻寿司あるいは同手巻寿司巻包体の収納時に同形状の略円錐形状に形成される透明プラスチック製の袋本体を設け、該袋本体内へ手巻寿司あるいは手巻寿司巻包体を収納した後、同袋本体の上端開口部を適宜の閉鎖処置によって密閉するようにした包装袋において、前記袋本体の側方テープ部の略中央に切開用の切り込みを入れた舌状片を突設すると共に、当該袋本体を、前記舌状片の一片を横方向へ引張ることに切開可能なよう同方向にその開封方向を設定、配置した方向性フィルムにて形成したことを特徴とする手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、寿司職人が寿司店内で顧客の要求に応じて手巻寿司を即席で造ったり、あるいは消費者自身が家庭等で海苔シートで寿司用シャリをその中に具を入れた状態で略円錐形状に巻き込んで手巻寿司を造ることはよく行われている。一方、業務用として造られた手巻寿司は、外周を方形の透明プラスチック製フィルムで略円錐形状に巻包してコンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートの食品売場、寿司ショップ等々において展示、販売されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のプラスチック製フィルムを略円錐形状に巻いた手巻寿司の包装では、その上下両端が開口しているため、寿司用シャリや具の乾燥により商品の劣化が早まったり、外気中の塵芥、雑菌等が侵入、附着することによる衛生上の問題があった。

## 【0004】

【目的】本発明は、上記した従来技術の有するこのような問題点に鑑みなされたもので、内包される手巻寿司の乾燥、劣化、塵芥、雑菌等の附着を防止すると共に、袋の中央をその横断方向に容易、迅速、かつ正確に開封できる手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためには、本発明に係る手巻寿司または手巻寿司巻包体は、略円錐形状の手巻寿司あるいは同手巻寿司巻包体の収納時に同形状の略円錐形状に形成される透明プラスチック製の袋本体を設け、該袋本体内へ手巻寿司あるいは手巻寿司巻包体を収納した後、同袋本体の上端開口部を適宜の閉鎖処置によって密閉するようにした包装袋において、前記袋本体の側方テープ部の略中央に切開用の切り込みを入れた舌状片を突設すると共に、当該袋本体を、前記

舌状片の一片を横方向へ引張ることに切開可能なよう同方向にその開封方向を設定、配置した方向性フィルムにて形成したことを特徴とする。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施形態の使用状態を示す斜視図であり、図2は同上包装袋を示す正面図であり、図3は同上包装袋の他の実施形態を示す背面図であり、図4は被包装物なる手巻寿司巻包体を示す斜視図であり、図5は同上手巻寿司巻包体の展開した状態を示す平面図であり、図6は同上のA-A線矢視略示断面図であり、図7は手巻寿司を示す斜視図である。

【0007】透明はプラスチックフィルム材よりなる袋本体1は図1ないし図3に示したように、略二等辺三角形状の表フィルム1aと裏フィルム1bの両側端縁を熱シールして側方にテープ部2、3を形成する一方、上端側を開口部4に形成して、後述する手巻寿司あるいは手巻寿司巻装体を前記開口部4から投入、包装したとき、同袋本体1が略円錐形状となるよう構成される。

【0008】前記袋本体1は、その裏フィルム1bの上端にミシン目5を介して吊持片6が形成されると共に、該吊持片6に孔7、7が突設され、これら孔7、7によって袋本体1は多数枚重ねられて図示しない装置の支持バーに挿通、吊持され、手巻寿司等を投入と同時にミシン目5部分で吊持片6を残して切り離されるようになっている。

【0009】また、前記袋本体1は、その片側テープ部2の略中央に舌状片8が一体に突設しており、この舌状片8の略中央の横方向に当該舌状片8の一片が切開できるよう切り込み9が入れてある。この切り込み9は図1および図2のよう一條でも、図3に示したように所定の間隔を置いて二条入れても良い。

【0010】さらに、前記袋本体1は、舌状片8を横方向に引張ることにより直線状にほぼ正確に切開できるようその開封方向を設定、配置した方向性フィルムより構成されている。そして、この方向性フィルムとしては、公知の一軸延伸フィルム、あるいは二軸延伸フィルムを利用するものである。図中aで示す矢印は同フィルムの開封方向を示す。

【0011】他方、前記袋本体1に収納される複包装物として手巻寿司巻包体10は図4ないし図6に示したように、海苔シート11を収納する方形の外装フィルム12と内装フィルム13を有し、前記内装フィルム13は狭幅の固定フィルム14と広幅の剥離フィルム15とかなり、前記固定フィルム14は、前記外装フィルム12の一端に、その外側三辺をシールして固定され、前記剥離フィルム15は、前記外装フィルム12の他端にその外側三辺をシールして固定され、かつ当該剥離フィルム15の非シール部の一端は前記固定フィルム14の下方へ延出し、その延出端部を上方へ反対側に折返すこと

によって折返し片15aを、その基部15bが固定フィルム14の非シール部分の一片と互いに重なるように形成してなる包装用フィルム16を使用し、前記内装フィルム13における固定フィルム14上面から折返し片15aの基部15b上面に載置した寿司用シャリ17(上面に斜めに具材18が載せられている。)を、当該固定フィルム14の外装フィルム12にシールされた二辺が交わる角部19から斜め上方に向て当該包装用フィルム16を略円錐形状に巻込むことによって形成される。なお、巻込み後、拡開しないように包装用フィルム16の他端角部をシール(図示しない)によって固定するものである。

【0012】このようにして形成される略円錐形状の手巻寿司巻包体10を袋本体1へ収納後、上端開口部4に閉鎖処置20を施すことにより密閉する。この閉鎖処置20としては、図示例では加熱シール20aを採用しているが、図示しない結束テープ、紐等を使用しても良い。

【0013】次に、以上のようにして手巻寿司巻包体10を収納後密閉された袋本体1を開封する場合は、先ず、袋本体1の一側テーパ部2に突設された舌状片8の一片を摘んで横方向(図中矢印a方向)に引張れば、同方向に開封方向を設定、配置した方向性フィルムにて形成された袋本体1は、その中央部が舌状片8の切り込み9に沿って略直線状、かつ帯状に切開される。

【0014】そして、袋本体1を切開することによって取り出された手巻寿司巻包体10は、次のようにした開封し手巻寿司とする。先ず、手巻寿司巻包体10を図5および図6に示したように展開することで、略円錐形状に寿司用シャリ17を包装用フィルム16の固定フィルム14から剥離フィルム15の折返し片15aの基部15bにかけて斜めに載置させる。

【0015】次いで、折返し片15aを図5の矢印に示す方向に引張り剥離フィルム14を外装フィルム12から剥してこれを除去した後、露出した海苔シート11を固定フィルム14から矢印方向へ引き出せば、寿司用シャリ17は海苔シート11に対する粘着力および接触抵抗により当該海苔シート11の一端(固定フィルム14側)に載せられる。そこで、海苔シート11を角部から斜め上方に巻込めば図7に示したように略円錐形状の手巻寿司21が形成される。

【0016】なお、以上の実施形態では、袋本体1内へ収納する被収納物として手巻寿司巻包体10を使用しているが、図7に示した手巻寿司21を直接袋本体1内へ収納しても良い。

#### 【0017】

【発明の効果】本発明は、以上のとおり構成されるものであるから、寿司用シャリに海苔シートを略円錐形状に巻いた手巻寿司およびこの手巻寿司を寿司用シャリと海苔シートとを隔離した状態で包装用フィルムで略円錐形状に巻いた手巻寿司巻包体中の寿司用シャリの鮮度保持および衛生状態の保持にきわめて効果的である。また、開封方向を横方向へ設定、配置した方向性フィルムにて形成された袋本体の側方テーパ部の略中央に前記開封方向に沿った横方向へ切り込みを入れた舌状片を突設したものであるから、この舌状片の一片を摘んで横方向へ引張るというワンタッチ操作で袋本体の略中央を横方向へ略直線状にして、しかも帯状に容易、迅速、かつ正確に切開でき、従って、袋内部の収納物の取り出しを迅速、容易に行うことができる。

#### 20 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の使用状態を示す斜視図である。

【図2】本発明の包装袋を示す正面図である。

【図3】本発明の包装袋における他の実施形態を示す背面図である。

【図4】本発明包装袋の被包装物なる手巻寿司巻包体を示す斜視図である。

【図5】同上の手巻寿司巻包体の展開した状態を示す平面図である。

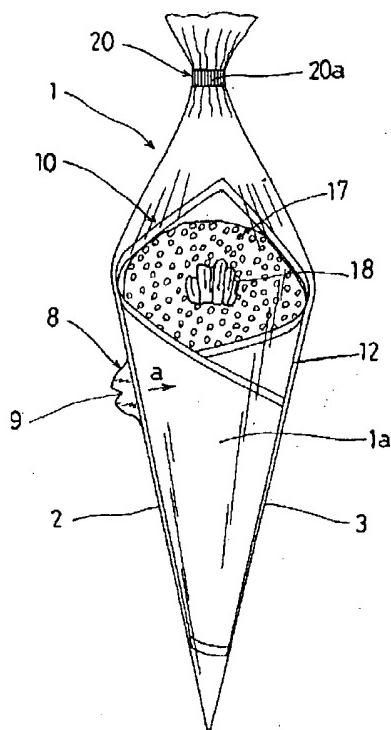
#### 30 【図6】同上のA-A線矢印略示断面図である。

【図7】手巻寿司を示す斜視図である。

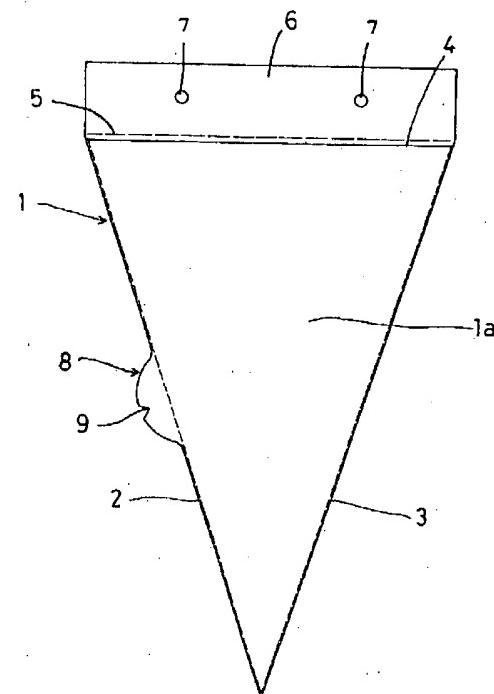
#### 【符号の説明】

1	袋本体
2	テーパ部
3	テーパ部
4	開口部
8	舌状片
9	切り込み
10	手巻寿司巻包体
20	閉鎖処置
21	手巻寿司

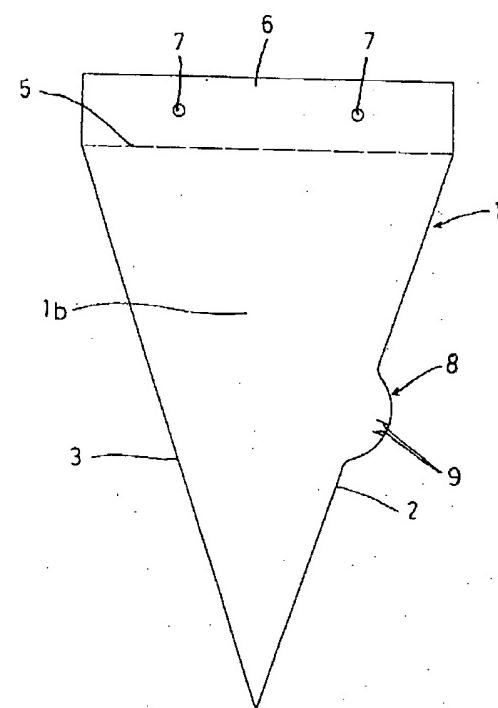
【図1】



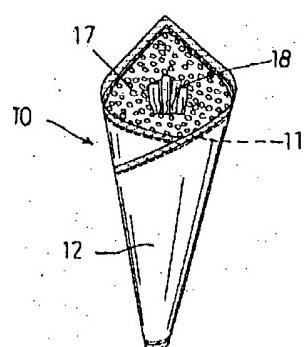
【図2】



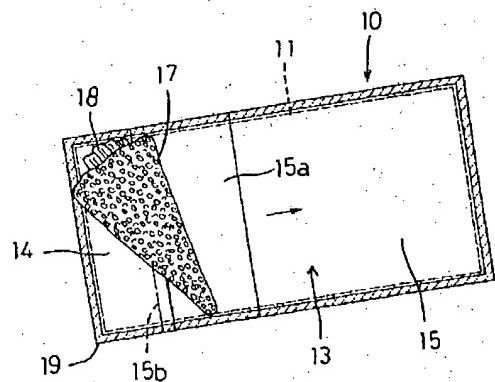
【図3】



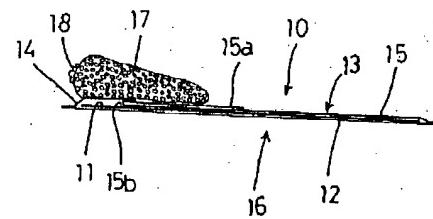
【図4】



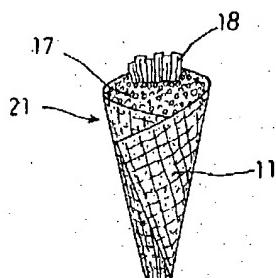
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E035 AA10 BA08 BB08 BC02 BD10  
 CA06 CA07  
 3E064 BA22 BC13 BC18 FA01 HM01  
 HN04 HN05 HN31 HP01 HP02  
 HP04 HP05  
 3E086 AC12 AC15 AC16 AD01 BA15  
 BB51 CA02  
 4B023 LE16 LP18